



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月4日

上場会社名 東り株式会社

上場取引所 東

コード番号 7971 URL <https://www.toli.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永嶋 元博

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部副本部長兼経理財務部長 (氏名) 荒木 陽三

TEL 06-6494-6691

四半期報告書提出予定日 2020年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	67,776	4.1	965	21.5	1,207	17.9	1,035	103.0
2019年3月期第3四半期	65,080	0.4	794	58.5	1,024	51.2	510	62.5

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 1,203百万円 (%) 2019年3月期第3四半期 7百万円 (99.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	16.82	
2019年3月期第3四半期	8.27	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	76,879	36,290	46.9
2019年3月期	77,654	36,042	46.1

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 36,064百万円 2019年3月期 35,833百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		2.00		8.00	10.00
2020年3月期		5.00			
2020年3月期(予想)				8.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当2円00銭 記念配当3円00銭

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	94,000	4.0	2,400	20.5	2,600	15.9	1,950	44.9	31.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	66,829,249 株	2019年3月期	66,829,249 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	5,641,523 株	2019年3月期	5,140,738 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	61,588,142 株	2019年3月期3Q	61,688,868 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善による個人消費の持ち直しなどを背景に緩やかな回復基調で推移しましたが、米中貿易摩擦や中東情勢の緊迫などにより、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの事業と関連性の深い建設業界では、住宅分野における新設住宅着工戸数は前年同期を下回る状態で推移しておりますが、非住宅分野におきましては、都市部を中心とした大型再開発やインバウンド対応での宿泊施設の需要拡大が期待されます。

このような状況の中、当社グループは中期経営計画『SHINKA-100』フェーズⅡ(2018~2020年度)において、3つの「SHINKA」(進化・深化・真価)をベースとした重点戦略に取り組んでおります。フェーズⅡの2年目である当期の第3四半期連結累計期間における連結業績は、売上高67,776百万円(前年同期比4.1%増)、営業利益965百万円(前年同期比21.5%増)、経常利益1,207百万円(前年同期比17.9%増)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、販売子会社の本社移転に伴い固定資産売却益を計上したこと等により1,035百万円(前年同期比103.0%増)となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。なお、セグメント間の取引を含めて表示しております。

<プロダクト事業>

塩ビ床材では、前期に発売したビニル床シート「ヒトエ」や「ケアセーフNW」の市場浸透効果や新柄・新サイズを加えた置敷きビニル床タイル「ルースレイタイル」並びにバリエーション豊富なビニル床タイル「ロイヤルシリーズ」の改廃効果により、売上が増加しました。

カーペットでは、堅調なオフィス需要を背景に、都市部を中心とする大型物件への納材が本格化し、タイルカーペット「GA-100シリーズ」及び「GA-3600」などの基幹商品や住宅向けタイルカーペットが売上を牽引しました。

壁装材では、ビニル壁紙「VS」及び「パワー1000」が好調に推移したことに加え、独自性の高い不燃化粧仕上げ材「リアルデコ」を大幅に増色したことにより、売上が増加しました。

カーテンは、豊富な生地で選びやすい新総合見本帳「フフル」が引き続き好調に推移したことに伴い、カーテン売上全体を押し上げました。

これらの結果、主要製品4分野における売上高はいずれも前年同期を上回り、売上高は40,731百万円(前年同期比4.4%増)となりました。

利益面では、売上高の増加及び販売価格の改定や製造原価低減に取り組んだこと等により、セグメント利益は795百万円(前年同期比18.3%増)となりました。

<インテリア卸及び工事業>

インテリア卸事業におきましては、首都圏を中心としたコンラクト物件が堅調に推移し、売上を伸ばしました。また、工事業につきましては、宿泊施設の新築及びリニューアル工事や大型物件の受注等により、売上が大きく伸長しました。

これらの結果、インテリア卸及び工事業の売上高は44,079百万円(前年同期比3.0%増)となりました。

利益面では、販促活動を強化したことにより、販売促進費や見本費が増加しましたが、売上高が増加し、また販売価格の改定に取り組んだこと等により、セグメント利益は558百万円(前年同期比12.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

<資 産>

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ268百万円減少し、47,281百万円となりました。これは主に、新製品の発売等に伴い棚卸資産が増加したものの、売上債権の回収等により受取手形及び売掛金が減少したことによるものです。固定資産は、前連結会計年度末に比べ506百万円減少し、29,598百万円となりました。これは主に、販売子会社の本社移転に伴い土地及び建物等を売却したことによるものです。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ775百万円減少し、76,879百万円となりました。

<負 債>

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ698百万円減少し、29,862百万円となりました。これは主に、仕入債務の支払い等により支払手形及び買掛金が減少したことによるものです。固定負債は、前連結会計年度末に比べ324百万円減少し、10,726百万円となりました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,022百万円減少し、40,589百万円となりました。

<純資産>

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ247百万円増加し、36,290百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年10月25日公表の業績予想数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,825	8,592
受取手形及び売掛金	27,065	25,086
商品及び製品	8,414	8,807
仕掛品	1,187	1,768
原材料及び貯蔵品	1,660	1,714
その他	1,453	1,418
貸倒引当金	△56	△107
流動資産合計	47,550	47,281
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,119	6,420
機械装置及び運搬具(純額)	2,878	3,213
工具、器具及び備品(純額)	400	361
土地	9,556	9,026
建設仮勘定	1,048	601
その他(純額)	60	78
有形固定資産合計	20,063	19,700
無形固定資産		
ソフトウェア	1,543	1,421
その他	107	58
無形固定資産合計	1,650	1,480
投資その他の資産		
投資有価証券	5,237	5,597
繰延税金資産	912	598
その他	2,339	2,317
貸倒引当金	△99	△96
投資その他の資産合計	8,390	8,417
固定資産合計	30,104	29,598
資産合計	77,654	76,879

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,098	22,532
短期借入金	2,070	2,520
未払法人税等	355	154
未払費用	1,704	1,618
賞与引当金	761	206
環境対策引当金	7	—
その他	2,562	2,830
流動負債合計	30,560	29,862
固定負債		
長期借入金	4,555	4,105
退職給付に係る負債	3,881	3,871
その他	2,614	2,750
固定負債合計	11,051	10,726
負債合計	41,612	40,589
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,855	6,855
資本剰余金	6,426	6,426
利益剰余金	21,975	22,209
自己株式	△1,122	△1,271
株主資本合計	34,135	34,219
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,748	1,908
為替換算調整勘定	△3	△9
退職給付に係る調整累計額	△46	△54
その他の包括利益累計額合計	1,698	1,844
非支配株主持分	208	225
純資産合計	36,042	36,290
負債純資産合計	77,654	76,879

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	65,080	67,776
売上原価	47,166	48,971
売上総利益	17,913	18,804
販売費及び一般管理費	17,119	17,839
営業利益	794	965
営業外収益		
受取利息	4	4
受取配当金	142	172
仕入割引	60	59
その他	182	185
営業外収益合計	389	421
営業外費用		
支払利息	57	55
売上割引	93	99
その他	8	23
営業外費用合計	159	179
経常利益	1,024	1,207
特別利益		
固定資産売却益	—	993
投資有価証券売却益	—	39
特別利益合計	—	1,032
特別損失		
固定資産除却損	62	20
固定資産圧縮損	—	592
投資有価証券評価損	71	—
関係会社整理損	29	—
特別損失合計	163	613
税金等調整前四半期純利益	861	1,626
法人税、住民税及び事業税	148	323
法人税等調整額	180	246
法人税等合計	328	570
四半期純利益	532	1,056
非支配株主に帰属する四半期純利益	22	20
親会社株主に帰属する四半期純利益	510	1,035

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	532	1,056
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△562	161
為替換算調整勘定	△3	△6
退職給付に係る調整額	41	△8
その他の包括利益合計	△524	146
四半期包括利益	7	1,203
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△13	1,182
非支配株主に係る四半期包括利益	21	21

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	プロダクト 事業	インテリア卸 及び工事事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	22,557	42,522	65,080	—	65,080
セグメント間の内部売上高 又は振替高	16,469	284	16,754	△16,754	—
計	39,027	42,807	81,834	△16,754	65,080
セグメント利益	672	495	1,168	△143	1,024

(注)1 セグメント利益の調整額△143百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	プロダクト 事業	インテリア卸 及び工事事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	23,886	43,890	67,776	—	67,776
セグメント間の内部売上高 又は振替高	16,845	188	17,034	△17,034	—
計	40,731	44,079	84,810	△17,034	67,776
セグメント利益	795	558	1,354	△146	1,207

(注)1 セグメント利益の調整額△146百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。